

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

水稻の生育は、概ね順調です。
今後は『根づくり』に向け、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しの前に、確実に“入水・排水するための溝”を作る

【目的】中干し（排水）やその後の間断かん水（入水）を効率的に行う。

【ポイント】…詳細は、前月号を参照

- ①土が軟らかいと掘りにくいため、事前に軽く田干しを行い、土壌をやや固める。
- ②溝は水がたまっているところを重点に、5mに1本を目安とする。
- ③枕地側も掘り、長辺に掘った溝と連結する。
- ④溝は排水柵に確実に連結する。



2 中干しは田植後4週間まで（莖数15本/株程度を目途）に開始する

【中干しの効果】

- ①土壌中の有害ガスの除去と酸素供給により、根の伸長を促進する。
- ②過剰な分けつの発生を抑える。
- ③葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、“足跡が残る程度”まで干しましょう（一度に干せなかった場合は、数回繰り返す）。

過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す



農業用水路の水量が多い時期です。
転落事故には気をつけましょう！！

3 中干し後は「間断かん水」の実施

しっかり田んぼが干せた後は、出穂30日前（5/10～15田植の場合、6月30日）まで「間断かん水」を行いましょ。富富富については、中干し後、落水期間が長めの「間断かん水」を行いましょ。

※高温時は、定期的に入水する等、干せ過ぎに注意（地温を下げる）

4 エスアイ加里特号の施用

ケイ酸やカリには稲体や根の活力を高め、背白・基白粒の発生を軽減する効果があるため、必ず施用しましょ。

肥料名	施用時期	施用量	留意事項
エスアイ加里らくだ	6月中～下旬	15 kg/10a	湛水状態で散布してください
エスアイ加里カリ投げくん	6月中～下旬	4kg/10a	

5 後期除草剤の散布

初中期一発剤や中期剤の散布後も雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょ。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエ	トドメMF 1キロ粒剤	1kg/10a	田植後14日～ノビエ5葉期まで（収穫50日前まで）	5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
広葉雑草	バيسコープ 1キロ粒剤*	1kg/10a	田植後14～60日まで（収穫45日前まで）	
	バサグラン粒剤	3～4kg/10a	田植後15～55日（収穫60日前まで） ※クログワイは田植後15～35日（草丈15cm以下）まで	落水し、田面が湿った状態で晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は入水・落水しない。イネ科雑草には効果が無い。
ノビエや広葉雑草	アキシズMX 1キロ粒剤*	1kg/10a	田植後7日～ノビエ4葉期まで（収穫45日前まで）	5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。
	テッケンジャンボ*	500g/10a（10パック）	田植後15日～ノビエ4葉期まで（収穫60日前まで）	水の出入りを止めて6cm程の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。藻が多発しているほ場や散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。

※「やまだわら」にはバيسコープ、バサグラン、テッケンを使用しないでください。